

ヘルス & セイフティーレポート 2022

■ 2022 年度 阪神高速グループ スローガン

先進の道路サービスへ — 明るく 楽しく 一歩前進 —

■ 経営理念

交通管理のプロ集団としての自信と自覚を持ち、お客さまに安全、安心、快適な高速道路を提供するため、日夜業務に精励し、社会に貢献します。

■ 健康指針

当社の経営理念である「安全、安心、快適な高速道路の提供に向けて」の実現のためには、社員が健康であることが何よりも大切です。

全ての社員が能力を最大限発揮し、安全で生き生きと働くことができるよう、会社一体となって、各種法令等の遵守、プライバシーの保護に十分配慮し、以下の指針に沿った、健康の保持増進に向けた積極的な取り組みを推進してまいります。

1 健康増進施策の推進

会社は、社員の健康の保持増進を図るため必要な施策を継続的かつ計画的に講じ、社員は、自らも健康に対する意識を高め自身の健康の保持増進に努めるものとします。

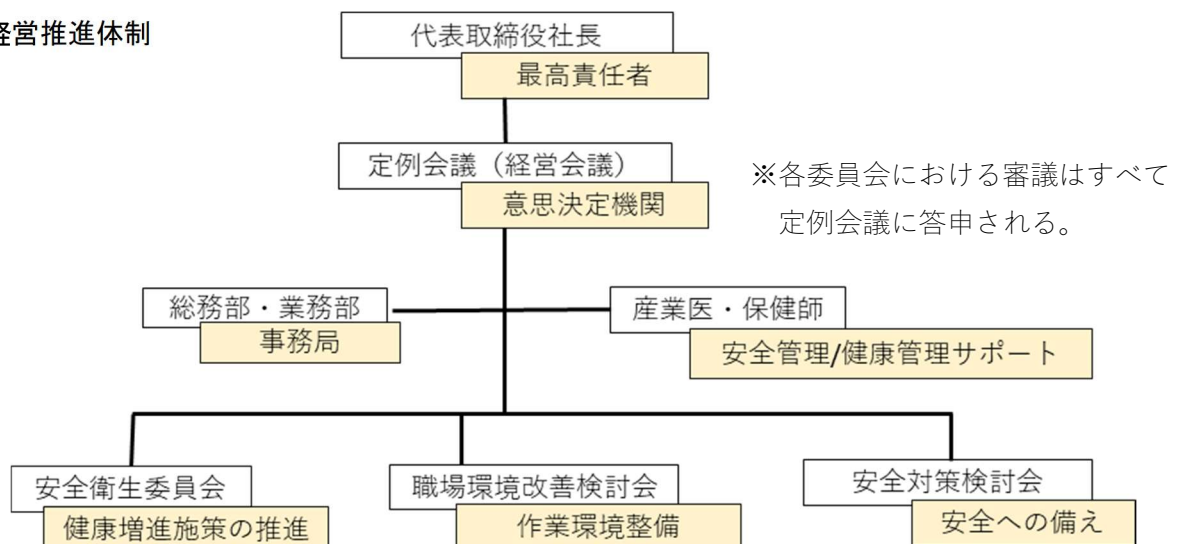
2 作業環境整備への取り組み

会社は、社員が安全で生き生きと働きやすい職場環境の整備に向けた積極的な取り組みを行い、社員は、自らも積極的な改善を提案することで、より質の高い職場環境を構築していきます。

3 安全への備え

会社は、労働災害の防止に向けた積極的な取り組みを行い、社員は、各種法令等の遵守並びにマニュアルの基本動作を着実に実行することで、事故ゼロを目指します。

■ 健康経営推進体制



■ 健康経営の普及活動

社内報への掲載（グループ内閲覧可能）及び、経営計画報告会でのアナウンスを行う

■ 主な取り組み：2022 年度

1 健康増進施策の推進

- (1) 定期健康診断・特定健康診断の実施と検査項目の拡充（HbA1c 及び眼底・眼圧検査を項目追加）
- (2) 本項 (1) (4) (5) (7) を一元管理（進捗、記録保存、統計分析）できるシステムを導入
- (3) 人間ドックの推進（胃がん・大腸がん検診の健康診断への組み入れ、ほか費用補助）
- (4) ストレスチェックの実施
- (5) 産業医・保健師による健康管理サポート（メンタル/フィジカル含む）
 - (ア) 産業医による関与（安全衛生委員会への参加/ストレスチェック実施/就業判定/面談）
 - (イ) 保健師による関与（職場巡視/保健教育（生活習慣病・禁煙等）/保健指導/面談）
- (6) 女性に特化した健康管理の実施（保健師面談の実施（全女性社員）・婦人科検診の費用補助）
- (7) 「協会けんぽ」との連携（データ共有、特定保健指導（受診必須）・健康セミナーの実施）
- (8) キャリアサポート体制の活用（社内キャリアコンサルタントによる面談/研修）
- (9) 弊社オリジナル体操の実施（職場単位で始業時に実施（コロナ禍により自粛中））
- (10) 体力測定の実施（職場単位で年 2 回実施（コロナ禍により自粛中））
- (11) 年次有給休暇や特別休暇の取得/ノー残業デー等による QOL の向上（余暇の充実等）
- (12) 福利厚生にて医療費ほかワークライフ向上メニューの費用補助
- (13) 阪神高速パトロール共済組合（社員の相互扶助及び福利増進）にて健康増進商品を配布
- (14) 安全衛生委員会にて本項の内容ほか、感染症対策を含め審議し全社員へ周知
- (15) 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき、産業医監修のもと、ウイルスの飛沫・接触等の感染を防止する対策品の導入ほか、社員へ正確な知識や意識を高める等の広報による予防対策を実施

2 作業環境整備への取り組み

- (1) 各種アセスメントの実施と活用（ハラスメント防止/職場環境の実態把握、ほか教育研修等）
- (2) 社内相談窓口を設置（メンタルヘルス・ハラスメント・キャリア）
- (3) 社外相談窓口を設置（外部 EAP：メンタルヘルス・ハラスメント）
- (4) 女性活躍推進（各部署に女性専用区画を新設・整備）
- (5) 職場環境改善検討会を実施（各種アセスメント結果を分析・検討）
- (6) 職場環境改善検討会及び各部会にて本項の内容を調査・審議し、経営会議へ報告する

3 安全への備え

- (1) KYT や各種研修を通して安全・危機管理能力を養い、基本動作の着実な実行を確認
- (2) 安全対策検討会による安全装備の調査・開発
- (3) 安全対策検討会及び安全管理室にて本項の内容を調査・審議し、経営会議へ報告する

■ 健康増進施策の推進に係る評価（労働災害防止に直接関係する項目）

- ・ 定期健康診断の受診率および、ストレスチェックの受検率は100%（長期欠勤者除く）である
- ・ 本データは2021年度に実施した健康診断および、ストレスチェックの結果をもとに抽出した
- ・ 本評価は上記 健康増進施策の推進に列挙した取組を実行し、その評価をリスク群として表す
- ・ リスクとは、抽出した項目を要因とした疾病につながる可能性を云う
- ・ リスク割合は、産業医の意見を踏まえた目標基準値を基に現行のリスク割合と対前年比を表している

リスク名	説明	リスク割合（昨年比）
肥満のリスク	心臓病(狭心症、心筋梗塞など)や脳卒中をまねきやすい状態 ＜抽出項目＞HDL コレステロール、中性脂肪、血糖値、腹囲、 血圧の値	3.0%（+0.5%）
血圧のリスク	心臓病(狭心症、心筋梗塞など)や脳卒中が生じやすくなる ＜抽出項目＞血圧の値	17.4%（+4.7%）
血糖のリスク	高血糖が慢性的に続くと網膜症、腎不全、神経障害が生じやすくなる ＜抽出項目＞空腹時血糖、HbA1c の値	4.4%（+0.7%）
脂質のリスク	心臓病(狭心症、心筋梗塞など)や脳卒中が生じやすくなる ＜抽出項目＞LDL コレステロール、HDL コレステロール、 中性脂肪の値	37.5%（+2.3%）
肝機能のリスク	ウイルス性肝炎、脂肪肝、アルコール性肝障害、肝炎ウイルスがいる場合は肝硬変や肝臓がんを発症しやすく、 γ -GTP の高値はアルコール性肝障害、薬剤性肝障害、胆汁の通り道の病気が考えられる ＜抽出項目＞GPT(ALT)、GOT(AST)、 γ -GTP の値	25.9%（+2.2%）
メンタルのリスク	ストレスチェックの結果から高ストレスと判定された者を抽出	17.8%（+4.5%）
その他 運動習慣者比率	1週間に2回、1回当たり30分以上の運動を実施している 人の割合	45.0%（+4.5%）

＜実績一例＞

上記リスク群への未然予防並びに、リスク割合低減のための取組例

◆保健師による生活習慣病・禁煙等の保健教育

◆労働災害防止/運動習慣の動機付け



■ 作業環境整備への取り組みに係る評価（労働災害防止に直接関係する項目）

項目	実績	内容
職場環境の実態把握	—	平成 25 年よりストレスチェックほか、職場の実態を把握するためのアンケートを行い、結果を部会（写真 A）にて集団分析し、作業環境整備への施策に展開する（写真 B）
社内・社外 相談窓口を設置	—	平成 25 年よりメンタルヘルス・ハラスメント・キャリア等に関する社員の不安や悩みの相談窓口（社内/社外）を設置運用する また、改正労働施策総合推進法（令 2 年 6 月 1 日付）に基づき、対策の更なる強化として外部 EAP によるハラスメント相談窓口を設置する

<実績一例>

◆写真 A：職場環境改善検討会開催状況



◆写真 B：女性専用区画の設置

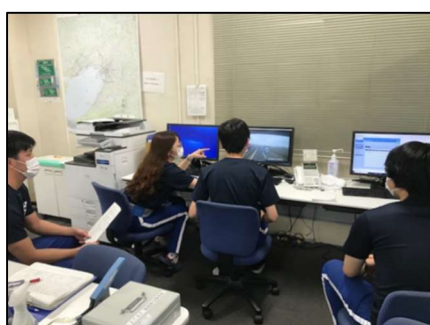


■ 安全への備えに係る評価（労働災害防止に直接関係する項目：2021 年度実績を記載（前年比））

項目	実績	内容
・ KYT 活動 ・ 事案検討会	103 回/年 （-28 回） 20 回/年 （-6 回）	職場毎に、作業の中に潜む危険要因を発見・把握・解決する KYT を実施するとともに、事案処理検討会における作業効率向上訓練を行い、社員の安全・危機管理能力を養う（写真 C）
安全装備の調査・ 開発	2 回/年 （-10 回）	部会にて「現場の声」を収集・分析し、リスク低減措置につなげる装備等の開発を実施する（写真 D）

<実績一例>

◆写真 C：KYT 開催状況



◆写真 D：安全ベスト_作業性と視認性の向上



■ 外部からの評価

- ・ 2017年度 全国THP推進協議会表彰『優良賞』受賞
- ・ 健康経営優良法人 2022 認定（4年連続）
- ・ スポーツエールカンパニー2022 認定（2年連続）
- ・ 第16回 大阪府無事故・無違反チャレンジコンテスト【金賞】受賞

◆全国THP推進協議会表彰



◆ロゴマーク



◆ロゴマーク



■ 行動計画

健康増進施策の推進、作業環境整備への取り組み、安全への備え等の健康経営施策の更なる推進を図り、社員が安全で生き生きと働くことができるよう、各種施策を進めてまいります。

<重点取組事項>

- ・ 現在取り組んでいる健康管理施策の着実な実行
- ・ 健康管理システムのデータを活用した施策の展開（ヘルスリテラシー向上に資する）
- ・ 職場改善計画（働きやすい職場環境への取り組み）の実践
- ・ 新型コロナウイルス感染予防対策の徹底